


正しいゴミの分別を！ ～未回収ゴミをなくそう～



ゴミが正しく分別されずに、資源ゴミの袋の中に混せて捨てられていました。



その中身を確認すると…



 プラスチック製パック
(廃プラスチック紙容器包装)
発砲スチロールトレイ
(トレイ類)

たばこの吸殻
(燃やせるゴミ)
 たばこの紙箱
(紙製容器包装)
 ペットボトル
(ペットボトルゴミ)

△ 5種類のゴミが、分別されずにすべて同じ袋の中に入っていました △

なぜ、ゴミの分別を行わなければならないのか？

【理由1】 正しいゴミの分別は、ゴミの減量化につながるため

燃やせるゴミは焼却処理を、燃やせないゴミは破碎処理を行った後、最終処分場に埋め立てられます。資源ゴミは、業者に引き渡して新たな製品に生まれ変わります。どのゴミなのかによって処理が異なるため、ゴミを捨てる時には分別に協力をお願いします。また、資源ゴミが分別されずに他のゴミに混せて捨てられると、資源ゴミの再資源化の機会が失われるほか、限りある最終処分場の埋め立てスペースを余計に使用してしまことになります。きちんと分別を行えば資源ゴミを再資源化でき、ゴミの減量化につながり、埋め立てスペースの使用を最小限に抑えることができます。

【理由2】 資源ゴミは、種類ごとにリサイクル後の製品が異なるため

ペットボトル、ビン、缶、紙パックなどの資源ゴミはリサイクルされ、それぞれ異なる製品に生まれ変わります。そのため、さらに細かく種類ごとに分別する必要があります。ペットボトルはリサイクル後、スーツやシャツ・帽子、たまごパックや傘などの製品に、牛乳パックはトイレトペーパーやティッシュペーパーに生まれ変わります。ほかにも、お菓子の袋などのプラスチック製容器包装は、工場で使われる燃料に、新聞紙はコピー紙に、雑誌はお菓子の箱などに生まれ変わります。このように、資源ゴミは種類ごとにリサイクル後の製品が異なります。種類ごとに分別がされていない場合は、再分別の手間が増え、リサイクル作業に支障をきたします。今一度、分別に協力をお願いします。

ゴミの削減を目指して ～3Rに取り組もう～

3R（スリーアール）とは、ゴミの排出を抑える循環型社会を構築するためのキーワードで、リデュース（Reduce）リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3つのR（アール）の総称です。

（1）リデュース（Reduce）発生抑制

ゴミの元を減らすことです。不要な物は買わない、もらわないことが大切です。

（2）リユース（Reuse）再使用

使える物は、繰り返し使うことです。壊れたものを修理して使用するほか、使用しなくなったものを譲り合うなどして繰り返し使うことも大切です。

（3）リサイクル（Recycle）再資源化

ゴミを資源として再び利用することです。ゴミを正しく分別するほか、再資源化した製品や再資源化できる素材の製品を購入することが大切です。

資源ゴミの分別ルールについて詳しくおさらい

①汚れをきちんと落とします。ペットボトルはフタとラベルを取り外します。



②資源ゴミの種類ごとに袋に分けます。異なる種類のゴミを一つの袋に混ぜないでください。段ボールなど、紐で縛って出すものについても種類ごとに分けてください。



廃プラスチックだけでまとめる ペットボトルだけでまとめる

ビンだけでまとめる

発砲スチロールと
トレイだけでまとめる

③資源ゴミ袋に廃プラスチックを入れる際は、レジ袋などから資源ゴミを出して、入れてください。また、レジ袋は中身が空の状態でも資源ゴミの袋に入れてください。



ダイオキシン類の測定結果について

9月から12月にかけて清掃センターと最終処分場で、ダイオキシン類の測定を行いました。平成30年度のダイオキシン類測定結果は、これまでと同様に国の基準を大きく下回り、安全性が確認されています。ダイオキシン類はプラスチック・ビニール類を焼却したときや、焼却温度が低くなったとき大量に発生するため、分別の徹底や生ゴミの減量化・水気切りを行ってゴミの水分量を減らすことが重要となります。今後も安全な基準でゴミが処理できるよう皆様のご協力をお願いします。

単位：ナノグラム

測定項目	国の基準値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
排ガス	10ナノグラム以下	0.58	0.25	0.70
焼却灰	3ナノグラム以下	0.15	0.0035	0.014

単位：ピコグラム

測定項目	国の基準値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
土壌	1000ピコグラム以下	0.096	0.15	0.074
放流水	10ピコグラム以下	0.000069	0.000042	0.000036

排ガス：焼却中に発生したガス

焼却灰：焼却したゴミの燃えかす

土壌：江南牧場の土(清掃センターの近隣地)

放流水：最終処分場で処理した水

お問い合わせ先 町民課町民生活グループ ☎25-3577